原小だより

～つよく　正しく　朗らかに～

3月号
令和7年（2025年）
2月21日
宇部市立原小学校

夢を語り、感謝を伝える3学期　～「原小のキャリア教育」～

今年度、黒石中学校区３校で「地域と連携した９年間のキャリア教育充実を目指して」様々な教育活動を展開しています。３学期は次の学年のステップとなる学期ですので、各学年で「将来どんな自分になっていたいのか」「この１年間でどんなところが成長したのか」を考える機会を多く持ちました。また、これまでの成長を支えてくれた保護者や地域の方々に「ありがとう」を直接伝え、温かい雰囲気の中でお互いの成長を確かめ合いました。そんな活動の一部を紹介します。

「10才のつどい」

４年生の「１０才のつどい」では児童が自分の夢を保護者の皆様の前で発表しました。個性あふれる夢とともに、その夢を叶えるためにすべきことも述べました。呼びかけや音楽のプレゼントの後に、家族への手紙を読んで親子で涙を流す場面も見られました。保護者の方に支えられながら、夢を叶える努力を続けてほしいと思います。

「6年生親子ふれあい活動・感謝の会」

６年生では、卒業式で使うコサージュを親子で作りました。仲良く作ったり、少しけんか気味になったりしながらも、温かい雰囲気で素敵なコサージュが完成しました。６年生から感謝を伝える会では、力強い呼びかけと「情熱大陸」の素晴らしい合奏を送りました。保護者への感謝の手紙では、涙、涙で感極まった親子の姿が見られました。普段は照れくさくて伝えられない「ありがとう」を伝える素敵な会となりました。

「6年生先生への感謝の会」

先生への感謝の会では、長縄大会やドッヂボール大会、計算大会など、たくさんのゲームが企画されていました。長縄では３分で２００回を越える６年に先生チームは全く叶わず、計算大会でリベンジさせてもらいました。感謝の言葉では気持ちのこもったメッセージとありがとうを伝えてもらい教職員一同感動させられました。思い出の一コマとなり、立派に成長した６年生を誇らしく思える時間となりました。

「ハートフルタイム」～地域の皆様へ感謝を込めて～

恒例の「ハートフルタイム」は２月２７日（木）地域の方を招待して全校児童が縦割り班で交流しながら感謝を伝える予定です。この１年間も、登下校の見守り、PTA 活動、さくらんぼの読み聞かせ、授業のお手伝い等、たくさんの地域の方々に、たいへんお世話になりました。音楽のプレゼントや、手作りのプレゼントなど、全校児童が心を込めて準備をしています。是非お越しください。

子どもたちが頑張ったプロセスや、成長したところを認めてもらえること、失敗しても前向きな言葉をかけてもらえることで、自己肯定感が高まっていき、将来の豊かな生き方につながっていくと考えます。また未来の社会をつくっていく子どもたちの成長には多世代の方との関わりは欠かせません。原小の児童がのびのびと笑顔で育っているのは、保護者の皆様、地域の方々のおかげです。深く感謝申し上げます。